自慢したくなる街、坂戸を作る。

昭和52年に作られた、坂戸市民音頭の1番の歌詞には、こう歌 われています。

「空の青さに心も晴れて、光あふれる、若いまち、咲いて嬉しいさ つきの花に、富士も筑波も一目ぼれ、坂戸さかさか栄える坂戸、ど んと沸き立つ、生きの良さ」

坂戸の当時の勢いが、よく表れている歌詞だと思います。 さらに4番になると、「今じゃ埼玉しょって立つ」とまで歌われてお

「埼玉をしょって立つ」とまで歌っていたわけです。 今では、とても作れない歌詞だと思います。

私は、そんな坂戸を今一度作れると信じています。

私が実現したい市政は3つです。

より多く使える予算を増やし より多く坂戸市民の皆さまに還元し より多くの市民生活を少しでも支えたい

どれだけ可能なのか、挑戦し続けています。



ゆげ勇人プロフィール

1973年10月23日生(50歳) 坂戸市清水町在住

県の奄美大島出身の父と東京出身の母の間に、4人兄弟の次男として日高の 高麗川団地で生まれ、1歳の頃、坂戸市柳町に引っ越してきました。

それから49年。幼き頃のおやつは桑の実でした。あとで食べようと団子状にしてとっ て置き、よく腐らせました...。小学校の時は坂戸グリーンファイターズに入っていて、6 年生の時の背番号は24で、外野の補欠でした。

よく練習に行くふりをし、友達とマツモト電気の地下にあるパソコン売場でゲームを していて、あとでバレて怒られました...良い思い出です。

中学は千代中サッカー部。高校は朝西ラグビー部でした。

教習所は坂戸教習所でした。・・・なぜか仮免1回落ちました。

また『パーマをかけてるの?』と、よく聞かれるのですが、完全な天然パーマです。 流川楓のような、さらさらストレートへアになりたかったです(涙)

- ●坂戸あずま幼稚園卒園
- ●坂戸市立千代田小学校卒業
- ●坂戸市立千代田中学校卒業
- 埼玉県立朝霞西高等学校卒業 ● 明治学院大学卒業
- 坂戸理容美容専修学校卒業(理容師)
- 立教大学大学院修了(経営学修士)
- (公共経営修士)(片山善博研究室)
- ●理美容室(7店舗)、ドッグ美容室(1店舗)経営
- ●埼玉県立川越女子高校 元PTA会長(2期)
 - 元体育文化振興会会長
 - 元後援会会長
 - ●西武文理高校 北斗星の会 元学年委員(3期)





8年前の市議選での公約

》 給食費完全無償化

8年前から一貫して、訴え続けていましたが、全く前進が見られませんでした。ですがついに、市長および市役所の皆さまのご尽力により、2023年4月から県内40市の中で初めて、小中学校の給食費無償化が達成されました。



🍅 東武東上線の終電時刻の繰り下げ

池袋から坂戸に帰るための終電時刻が、8年前は11時48分でした。 現在は0時2分となっています。東武鉄道さんのご尽力により実現しました。



神 市民バスの利便性向上

以前に比べ、ルートも便数も増加しましたが、まだ道半ばです。 タクシー利用補助や病院直行便や買い物利用便などの追加を含めた、 更なる利便性向上を訴え続けます。



🦻 議会のライブ中継・録画中継の実施

ライブ中継、録画中継の公約は達成されておりましたが、残念ながら本年3月議会から1年間、ライブ中継は行わないことになりました。不適切な発言をする議員がいるというのが中止の理由です。私たちの会派は反対しましたが、自民党系無所属議員と公明党議員の賛成多数により決定してしまいました。



私は、できるだけ市民に情報公開をすべきだと考えます。議員が情報を抑えるべきではありません。すべて公開し、市民に選挙で判断してもらえば良いと思います。

り もっと安心・安全な街に

ご高齢者や子ども達の安全のために、側溝にフタをつけることを訴えてきました。 進捗はしましたが、事業スピードに変化はありませんでした。



5年前の県議選及び4年前の市議選で新たに追加した公約



20代の転出者へ 奨学金返還支援制度の実施

坂戸市民は18歳~21歳まで急激に人口が増加します。ですが22歳~23歳から減少に転じます。これを少しでも抑制できれば、働く世代の人口増及び税収増につながります。そのために奨学金返還支援制度を行うべきだと訴えてきましたが、研究すると断られ続けてきました。ですがついに、本年4月から実施されることになりました。



子育で世代へ ICT教育に力を入れ、教育水準の向上を向けた事業

コロナ禍による国からの補助金もあり、全ての生徒たちへのタブレット貸 与などICT環境の整備が一気に進みました。



今回追加する公約

沙 北坂戸の復活を

私が初めてガンダムのプラモデルを買えたのは、東武ストアでした。ホワイトベースかボールしか残っていなく、ホワイトベースを買いました。本当はグフかギャンが欲しかったのですが、それでも嬉しかったです。

北坂戸がすっかり寂しくなってしまいました。現在、市が計画している溝端公園・ 旧北小の再開発案では復活するとは思えません。継続して私の考えを訴えていき ます。(詳細はゆげ勇人ホームページにある前回のチラシをご参照ください。)



図 圏央道坂戸インターチェンジ周辺開発を活用し、 東坂戸の復活を

圏央道坂戸IC周辺開発がこれから進もうとしています。入西坂戸西 インターチェンジ開発のような物流倉庫ではなく、鶴ヶ島市が誘致した IHI(石川島播磨重工業)のような、雇用創出効果の高い企業をなんと してでも誘致して、東坂戸を復活させるべきです。



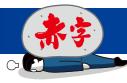
9 旧城山小学校跡地を活用し、西坂戸の復活を

地域の皆さまの声を反映しながら、規制緩和のために県の協力をなんとか引き出し、西坂戸を復活させる可能性の高い開発を、とにかく進めるべきです。

埼玉県坂戸市

一 ふるさと納税の赤字削減を

昨年度のふるさと納税における収支の赤字は1億6.500万円となっています。 様々な方策を実施し、赤字額を削減すべきです。



災害時の避難所である、 小中学校体育館にエアコン設置を

小中学校体育館には、現在エアコンが設置されておりません。ふじみ野市では令和3年度に設置済みで、令和6年度中には、富士見市で全小中学校に設置予定。お隣の鶴ヶ島市も、全中学校への設置が予定されています。令和7年度中には、川越市でも、全小中学校へ設置予定となっています。

いつ災害が起こるかは誰にも分かりませんし、教育環境の向上にもなります。市民のために、坂戸市も速やかに設置すべきです。



このような施策を行うことにより税収が増えれば、ご高齢者、障がい者、厳しい生活を強いられている方々に対する事業予算が「財源がない」という一言で拒否される現状を変えることができますし、市民生活を少しでも守ることができます。より多くの市民を救うことができると、私は考えています。









収尸巾議会 インターネット中継





